

平成16年(2004年)6月1日発行

「N.I.T./Yamamotoファインブラッキングセンター」竣工 精密金属加工の画期的製造技術を開発へ

産学連携研究の拠点に

センター長に村川正夫教授



4月20日に竣工したファインブラッキングセンターの外観(設計・建築学科・村口昌之教授) センター内に設置された400t(トン)ファインブラッキングプレス機

本学では、かねて高速・高精度の新加工プロセスの開発を目指し「ファインブラッキング(FB)センター」の建設を進めていたが、4月20日竣工した。竣工式当日は、朝10時から竣工式11時10分まで報道関係者を招いた記者発表およびFBセンター見学会、午後1時半からはFBセンター完成記念公開セミナーおよび見学会などの記念行事が盛大に行われた。

ファインブラッキング研究とは FBセンターは、平成15年度の文科省・産学連携推進事業に採択された研究プロジェクトの拠点として建設されたものである。センター長は、機械工学科・村川正夫教授。ファインブラッキング(精密打抜き加工法)製品および金型メーカーとして国内最大の株山本製作所(埼玉県東松山市)ほかと組んで研究プロジェクトを推進する。研究プロジェクト名は「アジア・ファイン・フォーミング(AFF)プロセスの開発」であり、迅速(アジャイル)、かつ精密(ファイン)に成形(フォーミング)するプロセスを開発しようとするもの。例えば、自動車部品など、従来は複数の異なる金属加工機によって、多くの工程を経て生産されていた精密金属加工製品を1台の複動・精密プレス機を用い、1工程で、しかも

究極的には「試作金型レス」により製造する技術を開発する。これにより、従来と比較し大幅に試作期間を短縮させ、コスト削減を図ることができると見られる。同センターは鉄骨2階建て総床面積298㎡(設計・建築学科・村口昌之教授)で、1階には400t油圧式ファインブラッキングプレスマシンが設置され2階には研究室と会議室が設けられている。研究室に

発、さらに多くの企業が参加するFB加工研究会の発足、FB加工国際セミナーの開催、FB加工等技術のPRを行なう予定にしているほか、学生や若手企業技術者育成などの教育研究活動の拠点にすることも計画している。

塑性加工学会会員や取引先など多数が参集した公開セミナーも開催される見学会では、10mm厚程度のロール状の板材がFBプレス機で打抜かれ、凹凸状の部品が瞬時に製造される様子を目の当たりにすることができた。

公開セミナーでは、「自動車業界に貢献する日米のファインブラッキング加工技術及び加工事例」のテーマで(株)山本製作所・山本勝弘社長が、次に森鉄工(株)取締役営業部長・林一雄氏が「最新・欧州及び日本におけるファインブラッキング技術の現状」を、続いて「ファインブラッキング加工におけるFEMシミュレーションの有用性」をFBセンター長・村川正夫教授が講演した。続いて政

策研究大学院大学教授・橋本久義氏が「元気をだせ中小企業技術でも流通でも国に負けない経営を!」のテーマで講演した。

専門職大学院等来春に開校予定



本学神田キャンパスが上棟式

4月17日(土)、神田神保町2丁目に建設中の神田キャンパスの上棟式が行われた。同建物内には、平成17年4月開校予定の専門職大学院、専門学校が設置される。建物は、鉄筋コンクリート造り地上8階、地下1階で延べ面積は約3563㎡。低層には書店や飲食店も入居予定で平成17年1月の完成を目指している。写真は神田キャンパス完成予定図(設計・建築学科・波多野純教授)

わかり易い内容の平成17年度大学案内発行



平成17(2005)年度の日本工業大学案内がこのほど作成された。全百ページで、前年のものに比べ、内容はビジュアルでわかり易く、コンパクトにまとめられた。見易い「クイック・インデックス」が、トップの見開き頁に配置され、大学の特色、どんなキャンパスなのか、何が学べるか、どんな施設があるか、就職について、入試制度についてなどを簡単に案内できる。入手希望者は入試室(電話・0480-13317676)に問い合わせのこと。

「出張講義」のお知らせ 高校生の皆さんへ!! 「オープンキャンパス」「入試説明会」のお知らせ

日本工業大学では、「出張講義」を実施しています。「出張講義」とは本学の教員が高等学校に向向いて、高校生に分かり易い講義を行うものです。工業大学の講義の一端に触れることで、高校生の皆さんに、工学の面白さ、ものづくりの楽しさを知っていただきたいと思っています。講義の題目は次のとおりです。

- 【機械工学科】 1. レーザではじめる物づくり -レーザでどんな加工ができるだろう- 2. ダイヤモンドの魅力(合成と応用の現状) 3. SFを通して見るロボット工学 4. 風から電気を作る話 5. ナノテクノロジー-小さなchiisanaちいさな機械- 6. 建築材料のあれこれ 7. 住宅設計の楽しみ 8. 建築設計の現場から
【システム工学科】 1. ドラえもんの世界-身のまわりのやさしい科学- 2. システム工学: 技術を創る方法 3. ガス管や腸内を走れるロボットのお話 4. ナノテクノロジー(10億分の1メートルの世界)の世界 5. デジタルカメラの仕組みと画像処理 6. 建築の仕組み 7. くもらない鏡のお話 8. 地球と水 9. 新教科「情報」と大学の情報教育 10. かけ引きの科学(ゲームの理論と意思決定) 11. パズルに使えるグラフ理論
【電気電子工学科】 1. 光ファイバ接続技術 2. 21世紀のキー・テクノロジー -太陽電池及び超電導体について- 3. 永久磁石と超伝導 4. 人造ダイヤモンド 5. 雷(かみなり)とは? 6. 情報とディスプレイ 7. 光ファイバ通信のしくみ 8. 新幹線の新しいとろり線 9. 真空と半導体開発 10. デジタル計測とコンピュータ 11. 設備の最適配置
【建築学科】 1. 建築基盤と地盤 2. 歴史を生かした町づくり 3. 異文化を解きあかす -住まい見聞録/教養としての建築- 4. 力の流れと安全 5. 身近な街並みから環境を考える

今年も次の日程でオープンキャンパスを実施します。「国際環境規格ISO14001」を取得した心地よいエコ・キャンパスとすぐれた実験・実習施設を、みなさんの先輩学生が親切に案内します。当日は工業技術博物館に動態保存されているSLの運転や、楽しい模擬授業、体験学習、研究室見学、入試説明会などさまざまなイベントがあります。また、学生ホール(大食堂)のランチも無料で提供します。言葉では伝えきれない日本工業大学ならではのオープンキャンパスに是非お越しください。

- 日程 7/17(土)・8/21(土)・10/23(土) いずれも11時から
●イベント ・施設/研究室開放・模擬授業・入試説明会 ・AO入試相談会・保護者のための説明会 ・入試資料提供・学生食堂無料試食会・グッズ進呈

Table with 5 columns: 会場番号, 開催日, 時間, 対象県, 開催場所. It lists 17 events across various dates and locations for the 2005 admission explanation sessions.

◆お問い合わせ・お申込み先 日本工業大学 教務部入試室 〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 TEL: 0480 (33) 7676 0120 (250) 267 FAX: 0480 (33) 7678 e-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

この4月1日から副学長・教務部長を仰せつかった。多少は役立てるようにとの心づもりである。行動する柳澤学長のもと、皆様のお力添えを得て、日本工業大学のさらなる充実・発展に微力を尽くしたい。

昨年大学として自己点検・評価を進めたが、点検は一般的に足りない点を認識することになる。もちろん謙虚に反省することは、大事である。しかし、もと



も持っていた長所・特徴を見失ってしまつては元も子もない。幸い、大学基準協会からは、大学基準に適合していると認証されたが、この経過の中で本学の良さへの認識が果たして充分だったか。大学が培ってきた蓄積をふまえ、その上で今後の方向を模索する必要があると思う。

長所の一つに、学生が全国から集まっていることが挙げられる。当然のように思われる方がおられるかも知れないが、10年前でも多くの大学では、所在地の周辺3県ほどから入学してきた。社会が経済上萎縮

し、地方化が進む現在では、いことだが、この内容の分析はおこなわなければならない。本学の入試は、推薦・一般入試・AO入試と制度を順次整え、それぞれの制度をきめ細かく運用して成果を上げてきた。推薦枠を単に高校に示すのではなく、成績、受験者の動向によって毎年丁寧に見直し、高校側の信頼を築き上げてきた。このことが、現在を支えている。この信頼を失いかねない変更は、当面とりえない。ただ、社会の情勢に対しては、柔軟に対応し、必要に応じてゆく検討は常に必要である。

もちろん、ユニークな教育機関であることは、学内

外が認めるところである。「建学の精神」を中心に据えて理念を達成しようと、「体験学習」に取り組んできたのは、それまでの日本の大学に欠けていた点であり、今後も進めて行かねばならない。実験・製図などによる体験学習を通して理論化する、また専門への関心から基礎を学ぶ、こうした教育・研究を博士課程まで、磨きを掛けたい。フレッシュユマンゼミ、柳澤学長が教務部長時代に提案した「低学年教育の充実」などは引き続き進められる。

社会情勢・産業構造の変化を考慮して教育・研究の枠組みを見直すことも、欠かせない。

効率だけでなく、いろいろな面で「質」を大事にし、向上させ、「大学らしい大学」を目指したい。

「質」を大事に「独自の大学」を

副学長・教務部長就任のご挨拶 渡辺勝彦

「独自の大学」をさらに求めつつ、百周年を迎えたい。

昨年度、本学における「低年次生教育に対する予算措置のための教育計画」を本学教員に募集し、その応募者による教育計画のプレゼンテーションが去る4月28日にあり、理事長以下7名の本学園理事によるヒアリングが行われた。

「低年次生教育に対する教育計画」に9案が応募

●平成16年度 低年次生教育充実のための予算申請計画案

学科	申請担当教員	取り組み名称
1 共通系	大野修一助教授 他6名	大学生の履修多様化に対応する教育体制の確立
2 共通系	塚林功助教授 他3名	学内外生活体験教室
3 機械工学科	古閑伸裕教授	デジタル板金加工システムによる実習教育用設備
4 学科合同	長坂保美助教授 他10名	ものづくり総合体験学習室
5 電気電子工学科	石田之則教授 他1名	フレッシュマンゼミでの1年生合宿研修による学修動機付けの発揚
6 電気電子工学科	菅原和士教授	社会と宇宙に広がった、ちょっと変わった提案
7 建築学科	波多野純教授	建築デジタルデザインによる実践的デザイン養成の設計教育
8 システム工学科	渡辺顕教授	システム・エンジニアリング学修体験施設
9 システム工学科	原利次教授 他1名	デジタルイメージング体験教育システム

この計画は、本学1～2年次生に対する教育計画の充実し、総額1億円程度の経費をかけて、積極的な取り組みを応援することを目的としている。学部1～2年次生への特色ある教育の充実が、現在の学生教育、本学のユニークな教育理念を実践するものである。同時に、たとえばオープンキャンパスに訪れた高校生の本学理解に有効であったり、実が本学教育の評価につながるなど、大変大きな効果が見込めるものである。現在審議中であり、6月にはこれらの計画のいずれかが実行に移されることになる。申請された計画案は別表のとおりである。

ISO 14001 内部監査実施される

本学では、国際環境規格ISO 14001を認証取得しているが、平成15年10月から新しいフェーズに入った。これを受けて4月6日から5月12日まで、全ての部門に対して内部監査が

4月24日(土) 1時30分、3・325教室には、120名を超える参加者が集まり、須藤和紀君の司会で、講演会は開始された。

初めに主催者を代表して、学生環境推進委員会委員長の後



●学生環境推進委員会が設置した「環境美化」をよびかける

行われた。13日の環境推進委員会では、主任内部環境監査員である機械工学科・佐藤茂夫教授から内部監査の結果について報告された。これは、「環境戦士」として活躍してほしいと学生の今後の活動に期待して、竹内教授はその講演を結んだ。

環境問題を避けて通ることは出来ない。強い関心を持つが多く加入した。来年度は、独立した委員会を誕生させたいので、今年度は、節目の年にしたい」と挨拶。

続いて、大学を代表して、鈴木学長が、学生に対する激励の言葉を贈った。

講演は、冒頭「21世紀は、環境の世紀と言われ、地球環境危機が叫ばれ、もはや、竹内淳彦教授で、テーマは「地球環境時代をどう生きるか」と題するもの。

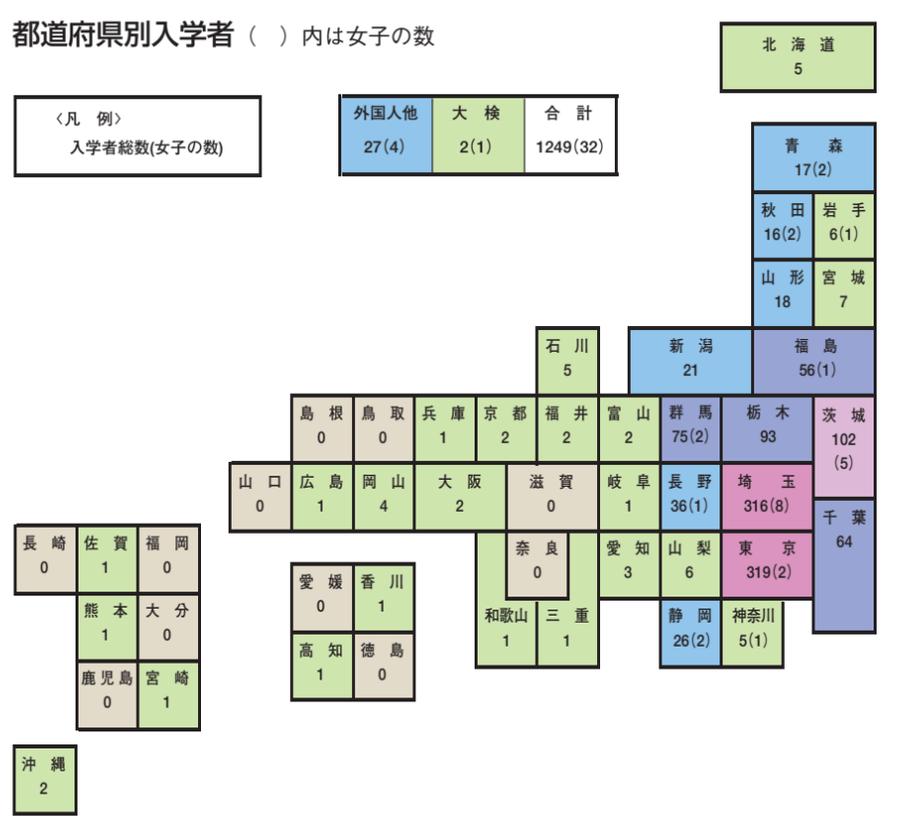
4月24日(土) 1時30分、3・325教室には、120名を超える参加者が集まり、須藤和紀君の司会で、講演会は開始された。

初めに主催者を代表して、学生環境推進委員会委員長の後

本学では、国際環境規格ISO 14001を認証取得しているが、平成15年10月から新しいフェーズに入った。これを受けて4月6日から5月12日まで、全ての部門に対して内部監査が

トップ5都県で72%、女子学生は32名 新入学者の出身地マップまとまる

平成16年度本学学部入学者の都道府県別入学者数を入試室がまとめた。それによると総入学者は1,249名で、うち女子学生は32名、留学生は27名である。都道府県別入学者数は東京319名、埼玉316名、次いで茨城102名、栃木93名、群馬75名がベスト5。この5都県で合計905名となり、全入学者の72%を占める。一方、四国、九州、近畿など、昨年入学者がなかった地域から、今年は入学者を迎えることができた。



●平成16年度 女子学生在籍者(学部)(秋入学も含む)

学年	機械	電気電子	建築	システム	情報	計
1年	0	0	25	1	6	32
2年	3	6	29	7	3	48
3年	1	4	32	8	10	55
4年	0	1	21	3	9	34
計	4	11	107	19	28	169

●平成16年度 留学生在籍者(学部)(秋入学も含む)

学年	機械	電気電子	建築	システム	情報	計
1年	3	3	5	7	9	27
2年	10	10	10	15	9	54
3年	4	4	0	11	10	29
4年	3	7	2	8	5	25
計	20	24	17	41	33	135

●留学生の出身国

出身国	計
中華人民共和国	100
中華民国(台湾)	11
大韓民国	8
サウジアラビア	5
スリランカ	2
バングラディッシュ	2
ラオス	2
コートジボアール	1
タイ王国	1
タンザニア	1
ネパール	1
ベトナム	1
計	135

自宅からでも登録できる ウェブ履修始まる

本年春学期より、インターネット(ウェブ)を通じて履修申告するシステムが導入された。

昨年度まではマークシートへ授業ごとに定められた科目番号を書かせる方式で、この履修申告を行なう際に、誤申告のほとんどが排除されることばかりが、この方法には

「学生による番号の書き間違い」あるいは「機械による数字の読みまちがいが多いなどの難点がある。新システムでは、学生が自分の携帯電話やパソコンから履修登録を行なう。これにより、誤申告のほとんどが排除されることばかりが、この方法には

学生環境推進委で竹内教授が講演 『地球環境時代をどう生きるか』

藤勇輝君が「環境推進活動に取組みたい」という新生が多く加入した。来年度は、独立した委員会を誕生させたいので、今年度は、節目の年にしたい」と挨拶。

続いて、大学を代表して、鈴木学長が、学生に対する激励の言葉を贈った。

講演は、冒頭「21世紀は、環境の世紀と言われ、地球環境危機が叫ばれ、もはや、竹内淳彦教授で、テーマは「地球環境時代をどう生きるか」と題するもの。

4月24日(土) 1時30分、3・325教室には、120名を超える参加者が集まり、須藤和紀君の司会で、講演会は開始された。

初めに主催者を代表して、学生環境推進委員会委員長の後



●入学式でのトラブルのお詫び

入学式でのトラブルのお詫び

技術的理由で映像が中断

本年度入学式は4月2日に行われたが、父母等の参加者が多数のため、主会場の体育館とサブ会場セントセニアの2会場となった。セントセニアでは、映像で主会場の模様を中継したが、技術的問題で途中映像・音声がか断されるトラブルがあった。予期しないことだったが、参加者には多大のご迷惑をおかけしたことを紙面を借りてお詫び致します。

第6回 歴史的な工作機械の顕彰

現存しない2企業の製品も含め、4機種を顕彰



工業技術博物館
館長・教授
松野 建一

「歴史的価値のある工作機械を顕彰する会（事務局・当博物館）」は、5月20日（木）学友会館において今年度の表彰式を挙行政した。昨年9月に公募した結果、当博物館後援会、工作機械関係の企業・個人から新たに13機種の応募があった。

推薦委員会では、前回まで申請・登録済で未受賞の機種も加えた82機種について慎重に調査検討し、5機種を審査委員会に推薦した。審査委員会ではそれらを厳正に審議して、ベストテクニカル賞に豊田工機（株）の「カム研削盤、ロングライフ」の2機種を選ばれた。

表彰式では、審査報告に続き、守友貞雄会長（本学理事）から顕彰機種を設計・製作した2企業に顕彰楯が贈呈され、経済産業省の祝辞、受賞者代表の謝辞、

記念撮影の後、当博物館後援会員の懇親会を兼ねた祝賀会が開催された。なお、現存しない2企業の業績も広く紹介し、記録に残すことになった。

■ロングライフ・ベストセラー賞

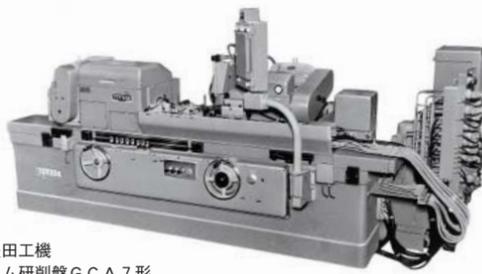


東芝機械マシナリー
テーブル形横中ぐり盤BFT-11形



三正製作所
横軸ロータリー平面研削盤SS-4、5形

■ベストテクニカル賞



豊田工機
カム研削盤GCA7形



菅鉄工所
単能機STS、STM形

「東芝機械マシナリー・テーブル形横中ぐり盤BFT-11形」中小企業でも設備できる中大品加工用に開発されたもので、各種の構造上の特長を有する操作性・汎用性の高い機械として、製造業の現場で非常に喜ばれ、シリーズ合計、224台の販売実績をあげた。

「菅鉄工所・単能機STS、STM形」油圧ユニットの流量調整による送り速度変換とシキンス制御による自動運転を可能にし、未熟練者でも容易に操作でき、多持ちも可能とした単能（旋削）機第1号で、量産部品加工に威力を発揮し、約15、000台生産された。

3月4日（木）、午後、成田空港より出発。夕方、北京国際空港より専用バスにてホテルへ。

3月5日（金）、世界遺産の万里の長城と頤和園を見学した後、北京西駅に向かう。夜行列車にて武漢へ。

3月6日（土）、朝武昌駅に着。大学国際交流処の張興敏先生と侯桂英先生が迎えに来てくださった。

3月7日（日）、国際交流処李処長を始め、幹部の先生方が多数ご出席くださった。交流の証として我々は記念品を頂き、こちらからは柳澤学長自筆の親書を手渡した。

3月8日（月）、日帰りに宜昌にある三峡ダムを訪ねて見学した。世界最大規模のダムは5年後完成する予定である。

3月9日（火）、午前中は市内見学と授業参観の2班に分かれた。授業参観では北朝鮮と韓国からの留学生が同じクラスにいることにまず驚くとともに、なによりもたった6ヶ月で流暢な中国語で会話をしていることに非常に感心した。午後夜行列車にて上海へ発つ。

3月10日（水）、上海駅到着後、市内観光（豫園、上海図書館、上海博物館など）は本場の雑技団のショーを鑑賞した。



●華中科技大学校舎を背景に記念撮影する訪中団一行

3月11日（木）、終日自由行動。春休み中里帰りしている本学中国人留学生たちと合流し、上海の町を散策した。

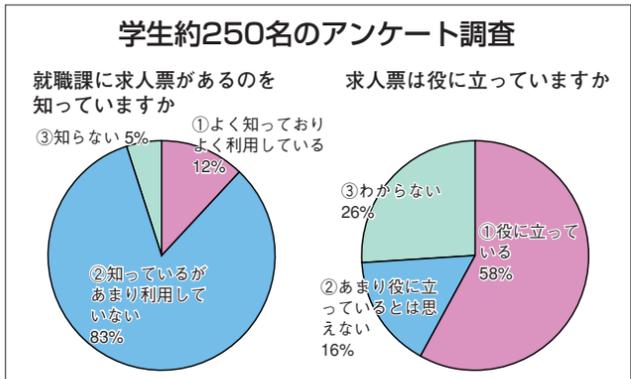
3月12日（金）、朝食後、上海浦東国際空港から成田空港へ出発。午後3時ごろ全員無事帰国。

北京・武漢・上海 3/4（木）～3/12（金） 日本工業大学学生訪中団の9日間

共通系講師 呉志良

厳選採用を継続する企業

—求人票の積極的活用を求む—



今年度の採用を抑制してきた上場会社だが、来春の採用計画では業績回復により採用を拡大する所が多い。しかし、今春卒業した大學生の就職内定率は昨年12月1日現在で過去最悪を更新したことが文部科学省で報告されている。一部で景気に明るさが戻り企業側の求人票は増えてきていると言われているが、企業は厳選して採用し、無理に採らない傾向が強まっている。以上ことから今年の採用環境は昨年と引続き厳しい状況にある。しかし、優秀な学生に対して企業は是非採用したいという姿勢をとっている。

今年の就職戦線の見通し

就職課長 吉見健二

今年度の採用を抑制してきた上場会社だが、来春の採用計画では業績回復により採用を拡大する所が多い。しかし、今春卒業した大學生の就職内定率は昨年12月1日現在で過去最悪を更新したことが文部科学省で報告されている。一部で景気に明るさが戻り企業側の求人票は増えてきていると言われているが、企業は厳選して採用し、無理に採らない傾向が強まっている。以上ことから今年の採用環境は昨年と引続き厳しい状況にある。しかし、優秀な学生に対して企業は是非採用したいという姿勢をとっている。



平成16年4月1日現在、本学工学部に学ぶ留学生数は135人になる。留学生の内訳は、中国が圧倒的に多く、次いで韓国、サウジアラビアと続く。

この春、初めてラオス出身の留学生が2人入学した。その1人、情報工学科3年に編入してきたSAVYSOUK SAENG（サヴィスク セン）君に話を聞いた。



SAVYSOUK SAENG君
情報工学科3年
(National University of Laos出身)

■母国でのコンピュータ会社設立を目指すラオスからの編入生

余裕が出来たらアルバイトもしてみたいという。日本ではフリーターというアルバイトで生計を立てている人もいるくらいだが、ラオスにはアルバイトという雇用形態はない。一度経験してみたい。一度社会勉強になるかもしれない。パソコンのハードウェアに興味のある彼は、できれば大学院進学を希望している。そして、将来はラオスにはまだないコンピュータの会社を設立したいという。彼をはじめとする他国で学んだラオス出身者の知識や経験は、今後のラオス発展の原動力になるであろう。

そんな自然に囲まれて育った彼の街にも、日本の自動車がオートバイが行き交い、家の中には日本製の家電製品が使われていた。そんな境遇で育った彼は、いつしか日本という国に興味を抱くようになった。今では、普段の生活

4月1日より 着任のご挨拶



学生部長
鈴木康之教授

学生部長を引き受けるにあたって平凡ですが、個々の学生が充実した学生生活をおくれるよう出来る限りの支援を、また学生が将来指導的の社会人として活躍するために必要な社会性を育む場である学生自治への出来る限りの支援を行なっていくことを決心いたしました。これからは私一人ではできないことではあります。皆様のご協力をお願いいたします。



図書館長
堀田勝喜教授

新年度から、図書館長の重責を担うこととなりました。皆様のお力添えを得て、出来る限り力を尽くしてゆきたいと考えております。図書館は、現在、様々な学生に対して対応を求められています。留学生も増えました。院生も同様です。読書は、非常に個人的な行為ですが、図書館は公共性を持っています。そこが、難しい点であろうと思っています。ご協力をお願いします。



電気実験研究センター長
谷本直教授

谷本です。センターの皆様と協力して、Open、Agile(迅速)、顧客満足をキーワードとして、センターでの実験が授業と相乗効果を生み、創造力豊かな学生を育てたいと念じます。



保健体育センター長
酒井 誠教授

学生および教職員の健康保持増進を図り、安心して学業・運動・業務等に専念できるよう、保健体育センターとして一層の充実を図って行きたいと考えています。



生涯学習センター長
船橋昭一教授

活力のある人生は自分で創造するもの。時に本業のスキルアップ、時に余暇を利用した人間力の充実等。時代と地域社会のニーズに応える話題を本学の生涯学習を源に発信してみたい。



ファインブランキン
センター長
村川正夫教授

文科省に採択された「産学連携研究推進事業(期間5年間)」に基づいて(株)山本製作所とセンターを設立し、その責任者に任命された。産学連携の実をあげるべく努力する所存である。

近事片々

私は学生時代から、研究と同時にF E試験という資格を目指してきました。これはP E資格の1次試験であり、海外でもエンジニアとしての能力を証明できる資格です。日本語に略すと「基礎工学技術者」となり、試験範囲は学生諸君が今学んでいる全ての学科に該当します。

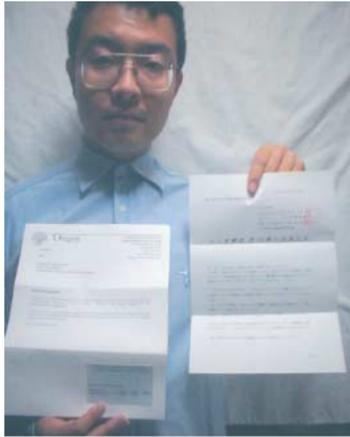
勉強方法ですが、問題を解いてみるのがいいと思います。まずは一日に3問でも構いません。自分で考えて、解いてみて下さい。初めは得意分野から、答えを参考にしながらかまいません。どうしたらこの答えになるのかを考え自分のものにして下さい。慣れてきたら、得意分野で一日

に15〜20問ほど、それ以外でも7問ぐらい解いてみて下さい。1度試験を経験していれば、6月頃から上記のような量にチャレンジすることで11月の試験に合格できると自負しています。皆さん

強する体制を作ってください。勉強することには謙虚に且つ、意欲的に取り組んでほしいと思います。はじめは問題を見たり組んでほしいと思いません。できると思うかも

なることではありません。ひたむきに努力することは大切なことですし、それによって分かることの楽しさを覚え、次の目標に向かっていきます。私はこの資格をとる前は建築学の視点で技術を見て

先輩だより



世界で通用する
エンジニアに

立澤幸三
(東京工業高等学校出身)
建築学科31期生
共栄産業(株)勤務

は大学4年生で受験可能となるので、早め早めに自分の勉強のペースを作り上げ自学自習の習慣をつけてください。興味があれば始めるのは、今すぐをお勧めします。1、2年生からでも自分の勉

に向かい筆を執ってみてください。謙虚にという意味は道徳的に生活してくださいという事です。学生生活は自由である分、自分自身を厳しく管理しなければなりません。資格をとることは何も偉く

いきましたが、資格取得後は技術者の視点で物事を考え始めました。私はいま設備の現場監督をしています。建築的なことも、機械の知識も必要ですが、最近では電気器具の勉強もしています。

この資格を身につける事で、エンジニアとしての総合的な能力を世界的に立証できると思います。日本は産業界中心にモノ作りの技術発展で成長してきました。技術者が技術能力に秀でて英語で意思疎通できれば、自分の活動範囲を広げることができ

学生の中には学業と共に、いろいろな事に挑戦してみたい。いま、諸君が大学で過ごしている時間はとても貴重なものです。自分にとって本当に大切な物を吸収していけるように、部活動、友達、恋愛等何でも壁にぶつかっていきけるようになってください。習慣は神である、人生とはあえてまだ自分の知らなかつた、出来なかつた事に挑戦するものであると感じておられます。

学生自治会主催 新入生歓迎・春のイベント



見るのも参加するのも楽しいパン食い競争

毎年4、5月は学生自治会の各委員会が主催する新入生歓迎のイベントが開催される。その中で、主だったイベントを紹介する。

恒例の大学祭実行委員会主催「春のぼかぼかコンサート」は4月17日(土)、体育館で行われた。ゲストはビリケン、フォークソングの名曲にヒップホップのリズムとラップを融合させたスタイルの人気グループで、全12曲を熱唱した。

4月28日(水)には、中央執行委員会主催「新入生歓迎講演会」が学友会館で行われ、会場は入場制限がかかるほどの超満員。ゲストはインパルス、5GAP、ラフコントロールの3組。テレビにもよく出演している人気お笑いグループだけに学生たちは大興奮。

体育祭実行委員会主催の第37回体育祭は、5月14日(金)、本学グラウンドで開催された。「フリーリフォー」の「龍追」といったユニークな種目も加わり、参加した新入生は和気あいあいとした競技を楽しんだ。

国際交流 カナダLCCと 華中科技大学より



華中科技大学の王秉副学長らと

カナダから
4月9日、本学協定校のカナダLCC・ELSコーポレーションの副学長ジュディ・ハジソンが本学を訪問した。今回の訪問の目的は、大学院学生の相互交流の在り方を意見交換するためである。技術教育の更なる発展を共に目指し、学生の活発な交流を今後目指していくことを主眼に、両校首脳陣間で意見交換が行われた。

中国から
4月14日には、本学協定校の華中科技大学から王秉副学長及び2名の先生方が本学を訪問した。今回の訪問の目的は、大学院学生の相互交流の在り方を意見交換するためである。技術教育の更なる発展を共に目指し、学生の活発な交流を今後目指していくことを主眼に、両校首脳陣間で意見交換が行われた。

盛大に大木理事の叙勲受章式・祝賀会

本学理事・名誉教授大木吉甫氏はこのほどフランス共和国から学術教育功労勲章(パルム・アカデミック)オフィシエを受章した。その祝賀会が4月24日ロイヤルパークホテルで盛大に行われ、中曽根康弘元総理大臣が発起人代表となり、駐日フランス大使(代理)ほか政・財・官・学界から多数出席した。



大木理事の叙勲祝賀会で挨拶する大木理事

木村教授に 瑞宝小綬章



本学工業教育研究所長・木村寛治教授が日本の工業教育への功勞に対し、今春の叙勲において瑞宝小綬章を授与された。5月12日伝達式が行われ、皇居において陛下の拜謁が行われた。

瑞宝小綬章は、皇居において陛下の拜謁が行われた。5月12日伝達式が行われ、皇居において陛下の拜謁が行われた。

【解任】(3月31日付)
◆電気工学専攻幹事 堀田勝喜教授
◆川面より主任(財務部長) 課

【退職】(4月30日付)
◆川面より主任(財務部長) 課

【国外出張】(2月〜3月)
◆廣澤史彦講師(共通系) / 出張先(イタリア・ドイツ) / 2月19日〜3月7日 / 目的: 研究会 Phase space Analysis of partial Differential Equations 及び Center への参加、講演、神林靖講師(情報工学科) / 出張先(ポルトガル) / 2月27日〜3月5日 / 目的: 2004 International ICSSC Symposium on Engineering of Intelligent System(AI S2004)での論文発表 ◆廣瀬治男教授(電気電子工学科) / 出張先(米国) / 3月9日 / 目的: 2004 International Workshop on Nonlinear Circuits and Signal Processingにて発表 ◆神野健哉助教(電気電子工学科) / 出張先(米国) / 3月11日 / 目的: 2004 International Workshop on Nonlinear Circuits and Signal Processingにて発表 ◆谷本直教授(電気電子工学科) / 出張先(米国) / 3月11日 / 目的: 2004 International Workshop on Nonlinear Circuits and Signal Processingにて発表 ◆渡辺康夫教授(電気電子工学科) / 出張先(米国) / 3月11日 / 目的: 2004 International Workshop on Nonlinear Circuits and Signal Processingにて発表 ◆伊藤康雄教授(建築学科) / 出張先(イタリア) / 3月16日 / 目的: 北イタリアの風土と建築に関する研究 ◆渡辺勝彦教授(建築学科) / 出張先(台湾) / 3月18日 / 目的: 中国技術院との学術交流 ◆波多野純教授(建築学科) / 出張先(台湾) / 3月18日 / 目的: 中国技術院との学術交流 ◆黒田由利教授(建築中実習) / 出張先(台湾) / 3月18日 / 目的: 中国技術院との学術交流 ◆黒田由利教授(建築中実習) / 出張先(台湾) / 3月18日 / 目的: 中国技術院との学術交流

募集 専修免許取得の公開講座

7月22日〜8月9日、本学主催の「文部科学省認定・免許法公開講座」が学内で開講される。本講座は①高等学校教諭専修免許(工業)②中学校教諭専修免許(技術)の取得を目指すもの。専修免許取得のために必要な単位数は、今年度より削減措置が廃止され、在職年数3年を満たしている全ての者が15単位必要となった。開講要項請求先は本学生涯学習センター(電話0480-34-4111(代))

中学校「技術」実技研修講座

中学校「技術」担当教員実技研修講座が8月9日から12日まで、本学技術実習室で開催される。本学と全日本中学校技術・家庭研究会、東京都中学校技術・家庭研究会の共催によるもので定員30名。内容は、中学校技術・家庭技術分野Aの技術とものづくりに関する実技研修と指導・評価の研究。費用3千円で、受講証明を発行。問合せ先は本学工業教育研究所・原田昭教授、技術科研究室・鹿嶋泰好教授(電話0480-33-7512)

編集後記

◆新入生の皆さん、新生活のスタートはうまくいきましか。新しい人間関係や環境に早く慣れて、勉強やクラブ活動に集中できる健全なバランスのとれた心身になれるよう努力してください。

◆現実と理想のギャップに悩みを抱えることは若さの特権ですが、深刻な場合は学生相談室に行き、気軽に相談することも一案です。ストレスに打ち勝つ方法は意識するしかないかは別ですが、人により全く異なりますが、これから人生を大々として歩んでいくためには、とても大切なことであり、主体性をもって訓練することをすすめます。(F)

【任用】(4月1日付)
◆五十嵐寧(教務部教務課 昭相)

【任用】(4月1日付)
◆三好和壽教授(先端材料技術研究センター) / 昭相21年2月15日(5月1日付)

【任用】(4月1日付)
◆電気実験研究センター長兼任 谷本直教授(新任) ◆保健体育センター長兼任 酒井誠教授(新任) ◆生涯学習センター長兼任 船橋昭一教授(新任) ◆ファインブランキンセンター長兼任 村川正夫教授(新任) ◆電気工学専攻幹事 森田登教授(新任)

津高行教授(建築学科) / 出張先(台湾) / 3月14日 / 目的: 自由科目「建築中実習」引率及び中国技術院との学術交流 ◆田中隆治助教(工業教育研究) / 出張先(台湾) / 3月14日 / 目的: 自由科目「建築中実習」引率及び中国技術院との学術交流 ◆藤原一教授(建築学科) / 出張先(中国) / 3月28日 / 目的: 中国・青島における共同研究の打合せ

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。